

タマネギ「早生湘南レッド」



育成経過

‘湘南レッド’は収穫期が6月中旬になる中晩生種のため、梅雨入り前に収穫できる品種の育成が求められていました。そこで、旧農業総合研究所で‘湘南レッド’をもとに選抜育種を行い、平成5年に赤タマネギ品種‘早生湘南レッド’を発表しました。

品種特性

1球重は‘湘南レッド’より50g程度軽いですが、収穫期が7～10日早く、梅雨前の5月下旬に収穫可能です。球形などの形質は湘南レッドとほぼ同じです。鮮やかな赤紫色の生食用タマネギで、輪切りにすると年輪状に赤紫色が配色されます。歯切れがよく、辛味及び刺激臭が少なく、甘みと水分に富む生食用赤タマネギです。一般の黄タマネギに比べ、貯蔵性は悪いですが、‘早生湘南レッド’は‘湘南レッド’と比べると、やや貯蔵性が良い特徴があります。

栽培

播種は9月中下旬で、11月頃に定植して、5月下旬頃に収穫を行う秋まき栽培に適します。‘湘南レッド’と比べると草勢が弱いですが、施肥量は普通秋まき栽培のタマネギに比べ80%程度に控えます。また、完熟牛糞堆肥などで土作りを行うことも大切です。定植時の苗の大きさは5～7mm程度でやや細めの苗とします。追肥を行う場合は2月中下旬頃とします。

病害虫防除は一般のタマネギと同様で、特に秋と春のべと病防除を徹底します。